

製品名: CD148 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08216**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	150kDa

抗原情報

遺伝子名	PTPRJ
別名	PTPRJ; DEP1; Receptor-type tyrosine-protein phosphatase eta; Protein-tyrosine phosphatase eta; R-PTP-eta; Density-enhanced phosphatase 1; DEP-1; HPTP eta; Protein-tyrosine phosphatase receptor type J; R-PTP-J; CD148
遺伝子 ID	5795.0
SwissProt ID	Q12913
免疫原	抗血清はヒト PTPRJ の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 861-910

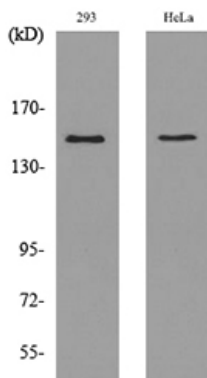
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質チロシンホスファターゼ (PTP) ファミリーのメンバーです。PTPは、細胞増殖、分化、有糸分裂周期、および癌化など、様々な細胞プロセスを制御するシグナル伝達分子として知られています。この PTP は、5つのフィブロネクチンタイプ III リピートを含む細胞外領域、単一の膜貫通領域、および単一の細胞質内触媒ドメインを有し、受容体型 PTP を構成します。このタンパク質はすべての造血系に存在し、おそらくホスホリパーゼ C ガンマ 1 および T 細胞活性化リンカーのリン酸化を阻害することにより、T 細胞受容体シグナル伝達を負に制御することが示されています。このタンパク質は PDGF ベータ受容体を脱リン酸化することもでき、紫外線誘導性シグナル伝達に関与している可能性があります。異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーション。触媒活性: タンパク質チロシンリン酸 + H(2)O = タンパク質チロシン + リン酸。疾患: PTPRJ の欠陥は、結腸がん、肺がん、乳がんに見られる。機能: 細胞増殖の接触阻害機構に寄与する可能性がある。PTM: N-および O-グリコシル化されている。類似性: タンパク質チロシンホスファターゼファミリーに属する。受容体クラス 3 サブファミリー。類似性: 1 つのチロシンタンパク質ホスファターゼドメインを含む。類似性: 9 つのフィブロネクチン III 型ドメインを含む。

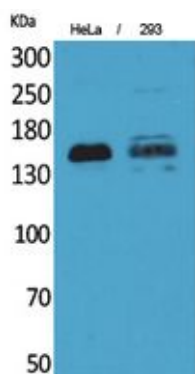
研究分野

接着ジャンクション;

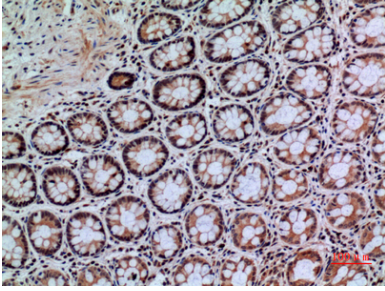
画像データ



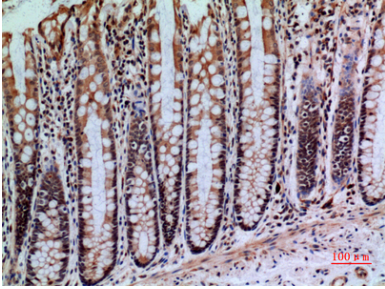
PTPRJ 抗体を使用した 293 HeLa 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。



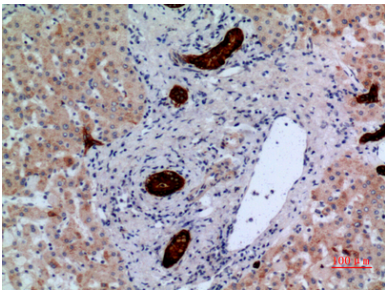
CD148 ポリクローナル抗体を使用した HeLa 293 細胞のウエスタン ブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



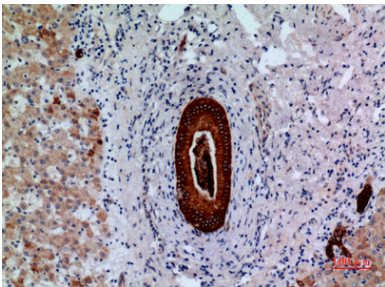
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された